

## 追悼 名誉会員・前会長 塩澤 正 一君

本会名誉会員・前会長 塩澤正君一は、病氣療養の所、昭和 55 年 11 月 27 日 88 才で逝去されました。ここに同君の冥福を祈り、つつしんで哀悼の意を表します。



### 弔 辞

日本鉄鋼協会前会長，早稲田大学名誉教授，国士館大学工学部教授塩澤正一殿の訃報に接し誠に哀惜に堪えず謹んで弔辞を呈します。

教授は大正 5 年早稲田大学理工学部採鉱冶金学科を卒業され，その後米国マサチューセッツ工科大学および欧州において鉄冶金学を修められ帰朝後，大正 11 年早稲田大学助教授に就任，教授，鑄物研究所長を歴任されました。昭和 38 年早稲田大学を停年退職されましたが，直ちに名誉教授とされました。38 年 4 月以来国士館大学工学部教授として新学部の創設発展に尽力して来られました。

この間，学生，研究者の教育，育成に尽瘁されると共に，鋼塊の偏析，強靱鑄鋼，耐硫化鑄鉄，鑄鉄の直接圧延などの分野で多くの研究成果を発表されました。また戦後の混乱の中から早稲田大学理工学部の復興，金属工学科の発足，鑄物研究所の機構運営の確立に中核的活躍をされたと聞いております。

学外にあつても，日本学術振興会の関係小委員会委員，大学設置委員会委員，日本工業標準調査会委員などを歴任され，学術技術の進歩に貢献されました。

日本鉄鋼協会に関しましては，永年に亘り編集委員，評議員として学会活動に協力されましたが，特に昭和 21 年 4 月から 2 年間は副会長として，また昭和 33 年 4 月から 2 年間は会長として，戦後の苦難耐乏から復興に向う時代の学会運営に力を尽されました。その後も前会長として，わが国鉄鋼業の発展と共に活発化する鉄鋼協会の事業を温かく見守つていただいて参りました。

今やわが国の鉄鋼技術は世界のトップレベルに達し，鉄鋼協会の活動も国際的な広い視野に立つて行うことが求められ，教授の高い識見に基づくご指導がますます必要な時機に教授ご他界の報を聞くことは痛惜の至りであります。

ここに日本鉄鋼協会を代表し教授の遺された幾多のご業績に深甚の敬意を表し，謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

昭和 55 年 12 月 7 日

社団法人 日本鉄鋼協会会長 武 田 喜 三